

法学部の教育体制 ～多様なカリキュラムときめ細かな指導体制～

法学と政治学を学ぶ ～多様な教育体制～

岡山大学の教育は、全学部
の学生に共通の**教養教育科目**と、
各学部で実施される**専門教育科
目**（専門科目）の2つに大別さ
れます。法学部では、学生の皆
さんが自分の関心や目的に沿っ
て法学・政治学を効果的に学ぶ
ことができるように、選択肢の
多い多様な教育体制が組み立て
られています。

段階的・体系的に 配置された専門科目

法学部の教育は、現代社会に対する広い視野と
国際社会に関する理解、そして、そこで生起する
法的課題の解決・判断に必要なリーガルマインド
（法的思考能力）を身につけることを目標として
います。

昼間コースでは、1年次に入門科目を中心とし
た基礎的な専門科目（法政基礎科目）を学び、2
年次から本格的に専門科目（法政共通科目、グロ
ーバル法政科目）を学んでいきます。

3年次からは、公務員を目指す「**公共法政コ
ース**」、民間企業を目指す「**企業法務コ
ース**」、法律専門職を目指す「**法律専門職コ
ース**」に分かれ、
卒業後の進路に応じて必要な応用科目を履修し
ていきます。このように法学部のカリキュラムは、
学生が自分の希望や進路にあわせて、段階的かつ
体系的に学んでいけるよう工夫されています。

各学年での少人数教育

きめ細かい指導に基づく少人数教育
が各学年で実施されており、個別報告、
班別学習、討論などを通じて、講義や
自主学習で得た知識の理解を深めます。

①ガイダンス科目 — 法政基礎演習

1年次には、学生生活上のガイダ
ンスを兼ねた入門科目として「法政基
礎演習」が開講されています。この
科目では裁判傍聴なども行います。

②ゼミ — 演習Ⅰ、演習Ⅱ

2年次には「演習Ⅰ」が、3・4年次
には「演習Ⅱ」が開講されています。
学年が上がるごとに内容がより専門
的になります。

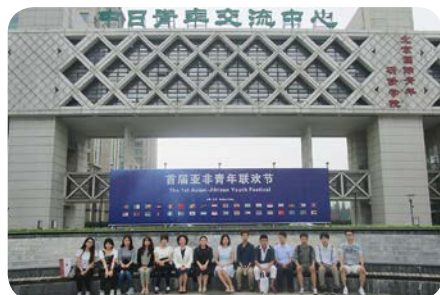
カリキュラムチャート（夜間主コース）

夜間主コースでは、地域社会に
密着して活躍することのできる人
材を育成するために、2021年度
に新しいカリキュラムを導入しま
した。法学・政治学と経済学の「共
通科目」の授業や、地域社会で活
躍する公務員や企業人のお話を聞
く「公共政策論」「企業法務論」
などを受講することで、地域社会
の課題を解決するための、より実
践的な知識と素養を幅広く身に付
けることができます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	○導入教育科目 ○知的理解科目 ○実践知・感性科目 ○汎用的技能と健康科目 ○言語科目 など			
専門教育科目	○法学・政治学系基礎科目 「憲法」 「民法総則・物権総論」 「現代社会と政治」 など	○法学・政治学系科目 「行政法入門」 「刑法総論」 「債権総論・担保物権法」 「国際法総論」「政治学」 など	「行政訴訟法」「租税法」「刑法各論」「相続法」 「企業組織法」「企業取引法」「労働法」 「法哲学」「法史学」「政治思想史」 「国際法各論」「アジア法」「比較政治」「行政学」 など	
		○社会連携科目 「公共政策論」「企業法務論」「経済経営特殊講義」など		
		○経済学系科目 共通科目(6科目以上) 経済学部開講科目	共通科目(6科目以上) 経済学部開講科目	

グローバル化支援体制

岡山大学は、日本のグローバル化を牽引する大学として、
全学を挙げて大学のグローバル化に取り組んでいます。



岡山大学短期留学プログラム (EPOK) など全学のプログラ
ムを利用して留学する機会は、Gコースに入っていない学生に
も開かれています。さらに、法学部では、**英語による専門科目**
や**海外特別演習**（短期の海外研修）を用意するなど、学生が海外
の法や政治、文化に触れることができる機会を積極的に設けて
います。

岡山大学では、どの学部の学生も、英語力・書面審査等による選抜を経て、副専攻
として**グローバル人材育成特別コース (Gコース)** に所属することができます。

毎年、多くの法学部生がGコースで学んでおり、法学部の授業のほか、留学に必
要な総合的な英語力を養うためのプログラムや、**英語による科目**を履修しています。
Gコースの学生の多くが、岡山大学と国際交流協定を
結んでいる大学に長期留学したり、インターンシップ、
サマースクールに参加したりするなど、海外での学び
を経験します。

